

お知らせ

平成27年 6月5日

資料提供先 三次記者クラブ

「水生生物調査(十日市親水公園)」 を実施します。

＜水生生物調査とは？＞

水生生物調査は、河川と親しみながら調査をすることで、身近な存在である河川に対して、河川愛護、水質浄化等の関心を高めてもらうことを目的として実施しています。

川底にどのような生物が住んでいるかを調べることで、その地点の比較的長い期間の水質の状態を簡易的に判定する、住民参加型の調査です。

当日は水生生物調査の他、試薬を用いた簡易水質試験や透視度を確認し、河川の水質を総合的な学習を行います。

記

- ・調査日時 平成27年 6月11日(木) 8:50~12:00
- ・調査場所 十日市親水公園上流部(別添参照)
- ・調査員 三次市立十日市小学校 4年生 約 110名

問い合わせ先：国土交通省三次河川国道事務所

(担当) 副所長 (河川) むかいだ たかし
向田 隆史

(担当) 建設専門官 みぞかわ かつみ
溝川 克巳

TEL : (0824) 63-4121

FAX : (0824) 64-2240

URL : <http://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/>

三次市立 十日市小学校 水生生物調査

日時≫ 6月11日(木) 8:50~10:20(第1部)《1時間30分》
10:30~12:00(第2部)《1時間30分》
予備日≫ 6月15日(月) 8:50~10:20(第1部)《1時間30分》
10:30~12:00(第2部)《1時間30分》

場所≫ 馬洗川 十日市親水公園付近



調査者≫ 十日市小学校 4年生 109名(午前:55名、午後:54名)
(1班あたり5~6名で、10班程度に分かれて実施します。)

調査内容≫

①水生生物調査(採取:30分程度、分類:20分程度)

バケツ、網を持ち川底等に生息する水生生物(主に水生昆虫)を採取し、採取した指標生物の個体数によりその地点の水質を4階級(きれいな水、ややきれいな水、きたない水、とてもきたない水)に判定する。



②調査結果とりまとめ（ 5分程度）

調査結果を班別に発表していただくか、時間によっては、感想や質問等に変更します。

（例）

「〇班の調査では、たくさん採れた生物はカワニナで、江の川の水質は少しきたない水でした。」等

調査結果を踏まえ、良い環境を守っていくのにはどうすればよいのか？

みんなにできることは？等、質問形式により、みんなで考える時間とする。

等、質問形式により、みんなで考える時間とする。



【注意事項】

◎川底は滑りやすく、ガラス等落ちている可能性があるため、濡れても良い靴を着用してください。（サンダルは脱げて流される可能性があるためお勧めできません）

◎野外での活動のため、熱中症等の危険性があります。帽子、お茶等の準備をお願いします。

◎雨天や川の水位が高い場合は調査を中止することがあります。

◆簡易水質試験（パックテスト等）による水質判定（15分程度）

児童による調査：化学的酸素要求量（COD）、水素イオン濃度（pH）、
アンモニア態窒素（NH₄）

先生による調査：溶存酸素量（DO）（ガラス製の試験管を使用するため）

パックテストにスポイトの要領で河川水を吸い取り、水の色の変化で水質を判定する。



◆透視度（水の透明さ）を計測（10分程度）

児童による目視確認（参加者全員で確認）

（100cmのガラス管に河川水を注ぎ、ガラス管の真上から、底にある十字線が確認できる水深を読み取る。）



◎タイムスケジュール≫

【第1部】

8:50~		現地集合
8:50~	9:05 (15分)	簡易水質試験 (パックテスト)
9:05~	9:15 (10分)	透明度 (水の透明さ)
9:15~	9:25 (10分)	水生生物調査 (事前説明)
9:25~	9:55 (30分)	水生生物調査 (採取)
9:55~	10:15 (20分)	水生生物調査 (分類)
10:15~	10:20 (5分)	調査結果とりまとめ、講評、現地終了

【第2部】

10:30~		現地集合
10:30~	10:45 (15分)	簡易水質試験 (パックテスト)
10:45~	10:55 (10分)	透明度 (水の透明さ)
10:55~	11:05 (10分)	水生生物調査 (事前説明)
11:05~	11:35 (30分)	水生生物調査 (採取)
11:35~	11:55 (20分)	水生生物調査 (分類)
11:55~	12:00 (5分)	調査結果とりまとめ、講評、現地終了

※上記スケジュールはあくまでも目安です。

※当日は調査場所に現地集合